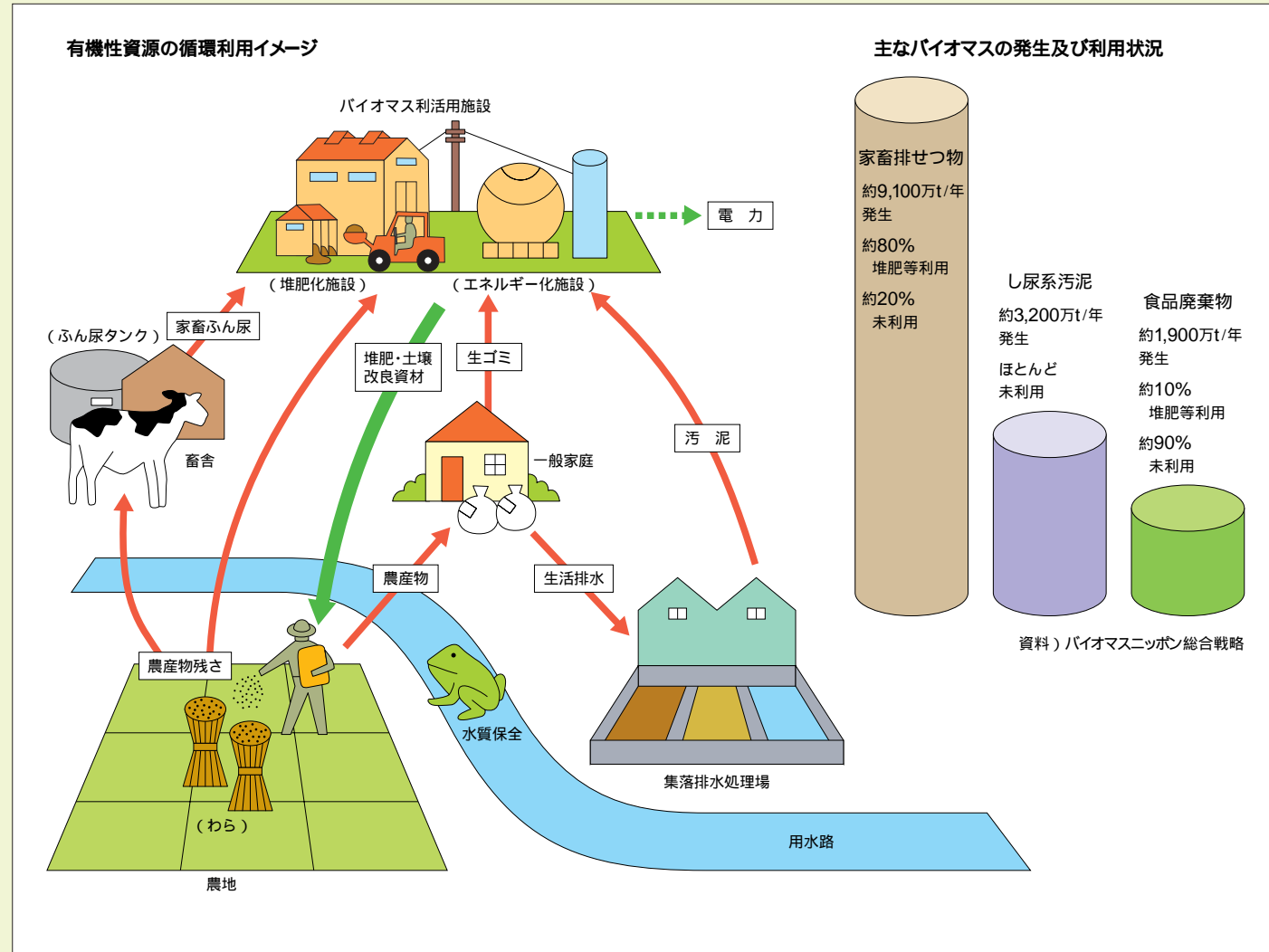
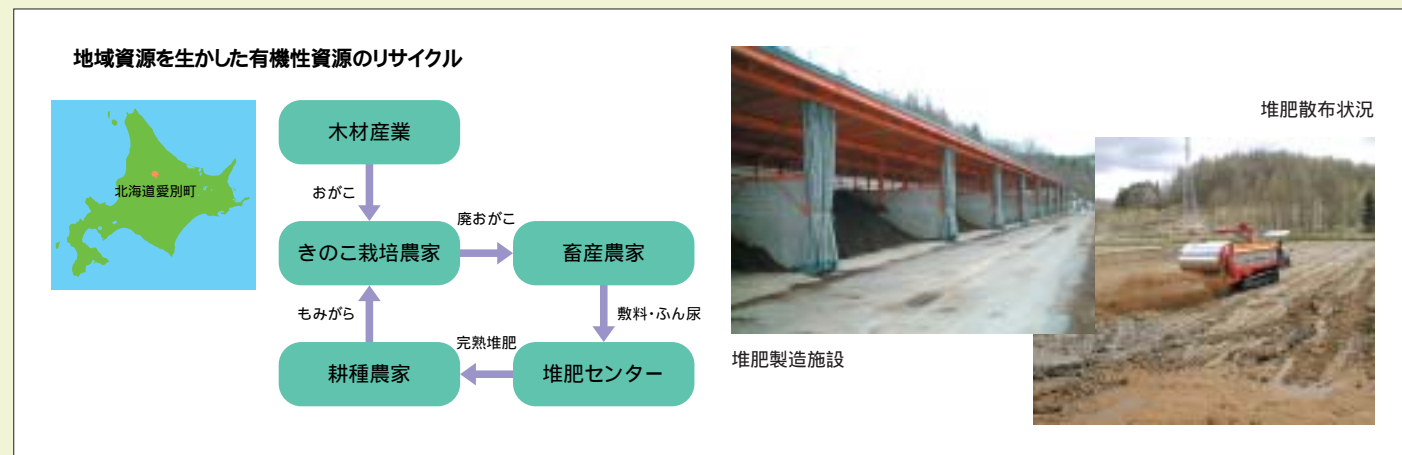


家畜排せつ物や食品廃棄物等の再生可能な有機性資源は、リサイクルが大切です。

畜産廃棄物や食品廃棄物などには、農作物の生育に必要な窒素や、エネルギー利用のもととなる炭素が含まれています。堆肥として農地に還元するなどにより、それらを適正に活用することは、水質の保全や温暖化ガスの削減につながります。



北海道愛別町では、町の特産物である「きのこ」と主要な農産物である「米」「畜産」を連携させ、各部門より排出される有機性資源より完熟堆肥を製造し、豊かな土づくりとクリーン農業に取り組んでいます。



水や風や太陽などによる環境にやさしいエネルギーが利用されています。

小水力発電や風力発電、太陽光発電など、大気汚染の要因となるCO₂やNO_xを排出しない取り組みが各地でなされています。

農業農村整備事業での取り組み

このブロックは、日本各地で行われているクリーンエネルギーの取り組みを紹介しています。写真には、秋田県西目町の町内の用水路の高低差を利用して小水力発電が行われている様子、新潟県能生町の日本海からの潮風を利用して集落排水処理場へ電力を供給している様子、そして鹿児島県喜界町の太陽光発電により農業施設等へ電力を供給している様子が写っています。地図には、小水力発電（青）、風力発電（緑）、太陽光発電（赤）、地熱利用（紫）の分布が示されています。